

### 第3回 協働のまちづくり条例策定 市民懇話会アンケート

設問1 木更津市の理想のまちの姿、期待する街の将来像について、お聞かせ下さい。

- ① 木更津市の理想のまちの姿は、市民の皆様が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりであり、このためには、市民の皆さんひとり一人の仕事と健康が基本であると思います。そこで、市民と市役所職員が協力しながら例えば、木更津市の温暖な気候、恵まれた自然環境、都心への交通の利便性、安い地価や家賃などの有利性を生かしながら、事業等を展開することにより、市民の皆様の雇用の促進と健康の増進を図りつつ、市民の所得を増やし、併せて木更津市の財政の健全化を進め、首都圏に住む人達から見ても分かる魅力あるまち「安心・安全で快適に暮らせる活力あふれるアクアラインのまち木更津市」をめざせれば良いと思います。
- ② 少子高齢化が進むなかで、高齢者が生活に利便性のあるコンパクトな街づくりが必要である。現在は、中心市街地が空洞化しており、高齢者には住みにくい街となりつつあります。
- ③
  - ・ホスピタリティ：国際観光都市にふさわしい外国人観光客への対応と市民意識の向上
  - ・コンパクトシティ：徒歩圏内での安心生活と中心市街地へのアクセスのワンコイン化
  - ・セキュリティ：防災対策の首都圏のかなめ都市らしく、陸海空自衛隊との連携
  - ・セイフティネット：北欧的な福祉対策と子育て支援の充実、教育による人づくり重視
  - ・起業支援：ITインフラ整備拡充、都会とアクセス利便性をいかした産業創出
  - ・アクアウェルシティ：自然と調和した市街地の広がる港町で福祉の充実したユニバーサルデザインが売りの木更津、アクアラインの存在を対岸にPR
  - ・国際貿易都市：みなとの機能をいかして国際貿易センター的な役割を担う
- ④ 地場産業を活性させると共に、更に進む高齢者・障害者のケアの充実。自然環境を守る（産廃処分・ゴミ処分の改善）
- ⑤ 税収を上げる為、企業などの誘致。木更津港を整備してきれいな港（木更津）PR。環境の良い町をつくり多くの人に住んでもらい歴史を大事にして明るい町にする。
- ⑥ 木更津市を中心とし君津市、富津市、袖ヶ浦市が一体化し中程度の規模による多機能な都市（一次産業、二次産業、三次産業のバランスと自然環境を活かした居住環境）東京、横浜、川崎の大都市の市民と教育や文化の交流を深めIC網のアクセスを活用した新しい需要づくり等（福祉関連産業）働く場所の創製。生活に潤いを提供できる観光産業の育成による人間らしさの享受できるまち
- ⑦ 市民が自分の町を良くしようとするモチベーションとインセンティブが必要かもしれない

### 第3回 協働のまちづくり条例策定 市民懇話会アンケート

- ⑧ 昔から港町で栄えており、もっと港を中心に南極観測船等を無料で引き取る方法で観光に力を入れると同時に企業誘致に力を入れて人口を増やす事
- ⑨ 若者が生き生きとしているまち。大学、短大、高専、高校等、学校が多く街中には存在するが、まちづくりにつながっていない。非常に残念
- ⑩
- ・ 老後の医療介護に手厚いまち
  - ・ 安心して子どもの教育ができるまち
  - ・ 豊かな自然環境でのんびり暮らせるまち
  - ・ 心身共に健やかで、生涯現役で住めるまち
  - ・ 優しい思いやりがあり、ご近所福祉で癒されるまち
- 多くは期待しませんが、一つ一つ確実なまちづくりをお願いします。
- ⑪ 市民が意識と責任感を持ち、市民が税金の使い道も含めた行政運営に積極的に関わることができるまち。福祉（子ども・障害者・高齢者）に重点が置かれたまち
- ⑫ J R木更津駅周辺（西口と東口）がにぎわいのある市街地になる事を期待する（車社会になり郊外が栄えることは良いことであるがやはり上記周辺が良くなると駄目）
- ⑬ 教育が重要であることは言をまたない。ここでは学校教育にない教育体制を考えたい。そこで提案するのが「伝統指導教育」といったものを検討し実施することです。木更津の将来を明るく希望のある大衆の集いとなる市井、市制、市政となることを望むものです。
- ⑭ 現状のまちの整備、財政状況を考慮すれば大きな事はできないと思う。
- ⑮ 子供から老人までが仲よく、地元を大切にし、木更津市をほこりとして思っていけるような、住みよい町
- ⑯ 子供から高齢者、障害者の方にとって住み易いまち（近隣の方の理解、建築物、サービスの充実）栄えるまち（店が沢山ある）
- ⑰ 市の自然、歴史をもとに文化の香り高いまち。市民の参加によるゆたかな、やさしいまち
- ⑱ 駅前の活性化（商店街等）と周辺地域の活性化（住宅地に多くの人が住んで良好な住宅地が形成される。）高齢化社会に対応してコンパクトな街づくりが大切であるということを感じている。

### 第3回 協働のまちづくり条例策定 市民懇話会アンケート

設問2 これから本市が協働のまちづくりを進めるなかで、あなたが出来ると思うことについて、お聞かせ下さい。

- ① 「安心・安全で快適に暮らせる、活力あふれるアクアラインのまち木更津市」の広報推進員として都心の自治体等へのPRの実施。市民の家庭菜園による健康づくり（野菜をはじめとするバランスよい食事、適度の運動、ストレスの解消）を推進するための菜園用地の提供と相談
- ② ボランティア活動に参加し、費用のかからない街づくりに市民として参加していきたいと思います。
- ③ 公民館や地域の集会場、小中学校体育館等を利用して、地域福祉計画のタウンミーティングのようなスタイルで、木更津市のまちづくりビジョンの説明会を開催する。町内会単位で参加を呼びかけてもらい、当懇話会のような対話形式のミニ集会にする。市民に理解を求めながら、要望も聴いていく姿勢を見せる。そのような集会の仕掛け人として当会メンバーとして企画し、協働事業として実施する役割なら自分にもできると思います。
- ④ きれいな町づくりの参画
- ⑤ 今できることは、月1回程度のボランティア、地区活動の協力。将来できることは、仕事を離れた後、何かの事に参加して木更津市を盛り上げたいと思います。
- ⑥ 現在活動しているNPO法人を更に進化して年齢的な条件を超越した青老幅広く参画できるまちづくり。日常生活の基盤である自分の住む街区の自立性の高い自治確立の協力、地域の意見集約やコンセンサス作りに対する斡旋作業の助力、まちづくりボランティア育成活動に関する事項等
- ⑦ 毎日のあいさつ。近所隣りの付き合いから、市民参加ができる場に参加する。
- ⑧ 市を愛するという事でボランティア的な事を通じて人々の力の結集を計りたい。
- ⑨ まず前提として現状の「お上」の意識の変化を市民全体に等しく知らしめるべき。それが出来ないのでは、協働のまちづくりなど絵に描いた餅というところ。
- ⑩ 総華的な計画ではなく、確固たるコンパクトシティ計画を策定し、コンパクトシティ実行委員会（協議会）に市民、団体、企業、NPO法人等を巻き込み、市長（行政）と市民が相互に共通の認識の基に、理解し信頼し合い協働して行動すれば、すばらしい「まちづくり」ができます。条例策定だけに（絵に描いた餅）に終わらないよう「気合い」を入れて協働すれば、必ずできます。YES、WE CAN

### 第3回 協働のまちづくり条例策定 市民懇話会アンケート

- ⑪ NPOとして、必要な市民サービスの提供。行政と役割分担を行い、実際の事業を担う担い手として。
- ⑫ 協働のまちづくりを推進するなかで決まったことは確実に実行する。行動する事については出来るだけ協力させていただきます。
- ⑬ 「自分に何ができるか？」は常に考えることだが、この世の中、資力、権力、体力がなければ何も成就しないことは、この人生で十分に教えられたと思っている。提案、発言しても、それはシャボン玉のように空中に飛んでゆき、左へいたり右へいたり、又上下してどこかで破られ、破れていってしまう。今、この懇談会に参加することぐらいが自分に出来ることかと思っている。今後の計画・企画・設計等に参加、同席することが自分にできることではないかと考えます。
- ⑭ 自治会の活性化。行政のバックアップで住民で街づくり意識高揚を図る。地道に。
- ⑮ 青少年の健全育成（非行少年やいじめ等の更正活動）については現在もNPO法人を通じて実施しております。
- ⑯ 改善点を提案すること。出来る範囲で周囲に呼びかけていくこと。
- ⑰ 公民館関係の活動。木更津の街を花いっぱいにする活動
- ⑱ 街のPRのボランティア等。学校での学童保育等のボランティア等。港の公園化に対する計画を広く多くの人に考えてもらったらどうか。

### 第3回 協働のまちづくり条例策定 市民懇話会アンケート

設問3 これまでのワークショップに対するご意見をお聞かせ下さい。

- ① 多くの皆様方のいろいろなご意見やお話をお伺いし、ありがとうございました。このような会に参加できましたことを感謝申し上げます。もう少し全体討議の時間が取ればよかった気がします。
- ② 各種の意見はもっともであると思いますが、過去に検討され課題となっているものが多く、優先順位をつけて実行していく段階であると思われます。
- ③ 行政の方々の市民の意見に耳を傾けようとする姿勢がよく伝わってきました。本会にも参加している区長さんが地域には市政協力員として配置、組織化されています。その区長さんや市議の方々にもっと協力してもらって市民参加のまちづくりを呼びかけ「協働のまちづくり条例」策定していったら、市民の市政への責任感も高揚して良いのではないのでしょうか。
- ④ 都市部中心型の組織構成ではなく、地域中心の構成が必要ではないか。
- ⑤ 今回集まっている方々は、前向きにまちづくりを考えていると思いますが、市民がすべて思っているとはかぎりません。そこで、時間等があって出来るのであれば町内の回覧等を利用して市民にアンケートのようなものができたらなー。
- ⑥ 行政の立案するマスタープランについては基本的に是とする。プランについて市民への丁寧な説明が最も必要且つ大切な事と考える。プランについての執行手順が効率的で経過と成果について透明度が良く判りやすい納得のいくものであって欲しい。ワークショップの開催は大賛成であり幅広い層を対象にさせていただく事を要望としたい。
- ⑦ また、皆で楽しく話し合える場を作ってほしい。
- ⑧ 思いつきだけでは、なかなか現実的にはならない。官と民が一体となってすすめる事
- ⑨ 他のG Pの活動は書面だけしかわからないので、思い入れや思いの丈が感じられないのが残念。時間がない。これに尽きる。
- ⑩ 今回のような市民懇話会にはJ S Tのワークショップ方式は時間のロスが多く不適です。市民の意見をまとめる書記係を定め、集約する方式がより多くの意見を集約できます。ワーキンググループの名簿の市民より、もっと多くの市民を協働させる方法はないでしょうか。例えば、公民館毎に市（行政）と市民が協議会等を設け、説明、語り合い、話し合いをし、協働して自分たちのまちづくりをする等です。条例案骨子（案）の作成についても、このワークショップを活用する等協働を願います。きさらづで一番大切にしたいものは何でしょうか。視点を誤らないように。

### 第3回 協働のまちづくり条例策定 市民懇話会アンケート

- ⑪ すごく勉強になりました。どんな条例ができるか、たのしみです。
- ⑫ なかなか良い意見が多数出てきていますので、どの様にまとめて実行していくかが問題だと思います。先ずは出来る可能性のあるものから潰していくしかないのでは。
- ⑬ 「木更津に良いところ・悪いところ」について話し合ってきたが、何かシックリしない感じのしないまま3回を向かえましたが、自分の中ではもっとシックリした表現、発言ができないままとなった。
- ⑭ グループでいろいろのご意見を聞き、今後の自治活動に参考になった。
- ⑮ もう少し時間が必要で、若者（小中高生）の意見も必要
- ⑯ 地域の様々な方と意見交換出来たことは、大変意義のあるものだと思う。
- ⑰ 木更津市の未来像について、市行政と市民の協働でできることは素晴らしいことと思います。  
市民に広くひろめて木更津市の夢のあるまちづくりがすすめられることと確信します。  
木更津市の底力となっていくと思います。
- ⑱ 木更津の中心街の活性化を図り、コンパクトな街づくりの大切さが、これからの大切な課題であるという感を強くした。街づくりに対する市民の声を広く聞いて生かしていくことが大切であろう。